2023 年度　文教大学臨床相談研究所　主催

専門研修講座

―自殺関連行動の理解と対応―

このたびは、「自殺関連行動の理解と対応」と題して、専門研修講座を開催することとなりました。講師には、張 賢徳先生をお迎えいたします。

■講座概要

心理臨床において、自殺関連行動（非自殺性自傷および自殺行動）はいつでも遭遇しうる、また適切かつ迅速に対応すべき最優先の課題です。しかしながら、自殺関連行動はクライエントのこころと生命の安全を脅かしうるものであるため、臨床家に与えるインパクトも強いものとなります。それ故に臨床家はその対応に躊躇や不安を覚えることも少なくありません。その際、自殺関連行動の理解と対応に関する知識を備えておくことが役立ちます。そこで、張 賢徳先生に「自殺関連行動の理解と対応」についてご講義頂きます。張先生は日本で初めての心理学的剖検地域調査を実施し、臨床実践・研究そして教育の側面から日本の自殺予防活動を第一線で牽引されておられます。張先生のご講義、事例検討を通して、明日からの心理臨床に活かせる自殺関連行動と理解に関する実践的知識を学んで頂ければと思います。

■講師　張 賢徳　先生

一般社団法人日本うつ病センター副理事長・同付属六番町メンタルクリニック院長、帝京大学医学部附属溝口病院精神科　客員教授。精神科医。医学博士。1991 年東京大学医学部医学科卒業後、帝京大学医学部精神神経科学教室に入局。1997 年英国ケンブリッジ大学にて精神医学博士号を取得。2008 年から 2021 年 3 月まで帝京大学医学部教授・附属溝口病院精神科科長。2021 年 4 月より帝京大学医学部附属溝口病院精神科客員教授。2021 年 9 月より一般社団法人日本うつ病センター副理事長および六番町メンタルクリニック院長。現在、日本自殺予防学会理事長、日本臨床死生学会副理事長、日本外来精神医療学会常任理事、日本うつ病学会理事、日本祈りと救いとこころ学会理事、日本精神神経学会自殺予防委員会委員長、日本うつ病学会自殺対策委員会委員長、日本精神衛生会機関誌編集委員長などとしても幅広くご活躍。主著は「人はなぜ自殺するのか」（勉誠出版）、「うつ病新時代―その理解とトータルケアのために」（平凡社新書）、「自殺予防の基本戦略」（責任編集、中山書店）、「うつ病診療の論理と倫理」（共同編集、学樹書院）など。ご専門は臨床精神医学と自殺学、また社会心理学や宗教学にも関心を寄せられている。

■日時：2023 年 12 月 10 日(日) 午前 10 時～午後 5 時

■費用：5,000 円　　■定員：50 名

■受講案内　対象：公認心理師、臨床心理士、医師、教師、ソーシャルワーカー、看護師等、臨床心理・医学・教育・福祉等の分野の仕事に携わっている方、およびそれらの職業を志している大学院生。＊臨床心理士資格更新および、公認心理師テーマ別研修のポイントに申請予定です。（大幅な遅刻・早退はポイント対象になりませんのでご了承ください。）

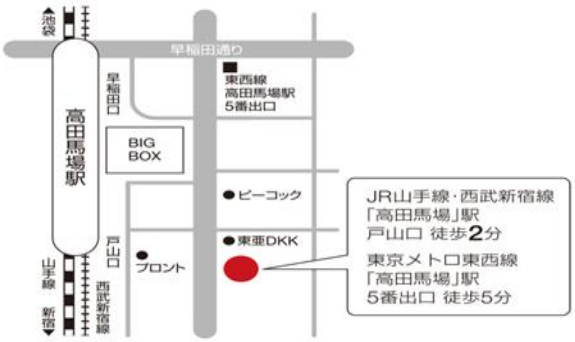
■当日体調不良でキャンセルの場合は手数料を引いた額を返金いたします。

■当日の事例検討におけるケース発表者を募集します。事例提供の詳細については別紙を参照の上、受講申込と併せてお送りください。

■申し込み：①氏名②住所③連絡先(電話番号とメールアドレス)④勤務先⑤公認心理師・臨床心理士資格の有無を記入の上、郵送・メールのいずれかでお申し込みください。10 月 31 日(火)必着。

■会場：ワイム貸会議室 高田馬場(Tel 0120-311-104)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-9 TD ビル 3F、4F（受付 3F）



文教大学大学院人間科学研究科付属 臨床相談研究所

〒343-8511　埼玉県越谷市南荻島 3337

Tel：048-974-4065

E-mail：rinsho@bunkyo.ac.jp

HP: http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/psyclinc/